作成日:　平成27年6月16日

会議議事録

第1回恵庭市総合計画審議会総合調整部会

（第1回）

議題:（1）第5期恵庭市総合計画将来都市像案の決定について

日時:	平成27年5月25日　9:30～11:00		場所:	恵庭市役所4階　402会議室
出席者:	北海道文教大学	井上　大樹		
	恵庭青年会議所	佐藤　康介		
	北海道大学	瀬戸口　剛		
	恵庭市町内会連合会	野原　聡		
	恵庭市体育協会	牧　由美子		
	市民まちづくりワークショップ	山田　義久		
作成部署:	企画・広報課　総合計画担当		作成者:	松居　友輝

議事録内容（1/12）

	会議次第
	1. 開会
	2. 部会長等の選出について
	3. 審議事項
	（1）第5期恵庭市総合計画将来都市像案の決定について
	4. その他
	5. 閉会
司会	本日は、お忙しい中をご出席いただき、誠にありがとうございます。
（企画振興部企画・広報課長）	ただ今から、第1回恵庭市総合計画審議会総合調整部会を始めさせていただきます。
	私は、進行を務めさせていただきます、企画・広報課の大槻です。
	どうぞよろしくお願いいたします。
	まず開催の前に事務連絡がございます。
	本審議会の委員でありました柏野大介さんが5月1日付けにて恵庭市議会議員となったことから
	総合計画審議会を辞任したい旨届出があり、これを受理いたしましたことをご報告させていただきます。
	それから本日の委員の出欠でございますが、本日は白﨑委員、高野委員が欠席で、井上委員が遅れてくるとの連絡を受けております。
	資料の方は事前に送っていますが、皆様お手元にございますか。
	それでは早速ですが、次第の2番目に参ります。
	部会長等の選任でございますが、部会長は委員の互選となっております。
	しかし、本部会の委員構成は3つの専門部会の部会長・副部会長の皆様と、
	3つの部会には所属していません瀬戸口委員、高野委員により構成されております。
	他の部会の部会長・副部会長との兼任を避ける意味からも事務局案といたしまして
	部会長に瀬戸口委員、本日欠席しておりますが、副部会長に高野委員にお願いしたいと考えておりますがいかがでしょうか。

議事録内容（2/12）	
	（賛成の声）
	ありがとうございます。ただいま、賛成のお声をいただきましたので、
	部会長は瀬戸口委員、副部会長は高野委員にお願いしたいと思います。
	それでは瀬戸口委員におかれましてはお手数ですが、前方の部会長席へお移りください。
	（部会長　席移動）
瀬戸口委員	ご挨拶をさせていただいてよろしいでしょうか。
	皆様おはようございます。ただいま部会長に選任させていただきました北海道大学の瀬戸口と申します。
	前回もご案内させていただきましたが、恵庭市さんとは色々係わらせていただいています。
	道の駅の計画に係わらせていただいたのと同時に、黄金ふれあいセンターの設計をさせていただいております。
	道の駅は非常に人気で年間7万人も来ていただいている好評を得た施設となっております。
	ただ今、柏地区のコミュニティセンターの計画にも携わらせていただきました。
	恵庭市には大変お世話になっております。
	そのご縁でこのような役目をいただいておりますけども、重要な会議でありますので皆様と一緒に進めて参りたいと思います。
	是非ともご協力よろしくお願いいたします。
司会	ありがとうございます。
	それでは次第の3．審議事項に入りたいと思いますが、これからの進行につきましては、部会長の瀬戸口委員へお願いしたいと思います。
	よろしくお願いいたします。
部会長	それでは議事に従いまして進めさせていただきます。
	今日は1点非常に大事な審議事項ですけども、「第5期恵庭市総合計画将来都市像案の決定について」ご審議をしていきたいと思います。
	資料はいくつかありますけども、総合計画策定について決め方のプロセスを書いたものと、
	その裏側にスケジュール、それと今日の1番大切な内容になります将来都市像（案）が4つ出ていますので、
	これを含めてご議論いただきたいと思います。
	まず事務局の方から状況や経緯ですとか、4つの案の中身について説明をお願いいたします。
事務局	それでは第5期恵庭市総合計画策定についての資料をご覧いただきたいと思います。
	昨年の4月より分野別団体やワークショップ、市民の広場などの取り組みを行いまして、
	中段の基本構想（検討素案）が提案され、昨年12月に発足した総合計画審議会により審議中ということで
	全体のスケジュールの中では資料の中段にあります、今ココと書いてあるところになっております。
	これが今までの経過でございまして、裏面をご覧願います。
	審議会のスケジュール（予定）となっておりますが、本日は第1回総合調整部会ということで
	資料の1番下にございますように、第5期恵庭市総合計画将来都市像案を決定することと致しております。
	以上が総合計画策定についてと審議会のスケジュールとなっております。
部会長	一つ確認したいのですが、第5期恵庭市総合計画将来都市像の案の決定でよろしいですね。
	最終的に決定するのは審議会の本委員会ですね。
	今日こちらでこういう案でどうだろうか、ということで審議会に持ち上げる内容について
	皆様と話し合いを進めて参りたいと思います。
	あと、手続き的なこととスケジュールのことで他にご意見ありますか。
	本題は次ですので、そちらの方でご意見いただければと思います。
	それでは将来都市像の案について事務局から説明をお願いいたします。

議事録内容（3/12）	
	[1．第5期恵庭市総合計画　将来都市像案の決定について]
事務局	第5期恵庭市総合計画　将来都市像（案）についてご説明いたします。
	前回4月28日に開催いたしました第3回総合計画審議会における審議事項「第5期恵庭市総合計画　基本構想（案）」
	の説明の中でも触れましたが、現在、事務局では4件の将来都市像（案）を提案させていただいております。
	事前に送付しております資料をご覧頂きたいと思います。
	4件の案についてそれぞれ簡単にご説明いたしますと、
	・昨年度行ないました分野別や地区別・市民ワークショップからの提言書などの市民の方々からの意見集約を参考とした
	「ひとと自然に囲まれた住み良いまち　えにわ」、
	・恵庭市まちづくり基本条例の前文の　私たちは、恵庭市民憲章の精神のもと、「花・水・緑　人が支え合う　生活都市　えにわ」が
	持続的に発展するよう、ここに恵庭市まちづくり基本条例を制定します。から引用した
	「花・水・緑　人が支え合う　生活都市　えにわ」
	・第4期恵庭市総合計画のキャッチフレーズ「水･緑・花　人がふれあう生活都市　えにわ」や
	案2の恵庭市まちづくり基本条例前文を引用した「水・緑・花　人が支え合う　生活都市　えにわ」を発展させた
	「水・緑・花・人・夢　つながるまち　えにわ」
	・将来都市像の頭文字を取ると「え・に・わ」となる
	「笑顔あふれる　日常生活を　輪になりおくれるまち　えにわ」
	を提案させていただいています。
	これら4件の内、これがよいというご意見や、これとこれを合わせたこのようなものがよいですとか、
	ここに提案されたものではなく新たにこういうものを提案しますといったご意見を出していただきたいと思います。
	そして、本日の最後には総合調整部会の皆様で、1つの将来都市像案を決定していただきたいと考えております。
	また、本日、決定した将来都市像案については7月の総合計画審議会において報告いただき、全体で確認いただきたいと考えております。
	資料の下段には参考といたしまして、これまでの総合計画における将来都市像を記載しております。
	読み上げますと、恵庭市の初めての総合計画となる総合開発計画では「市民が快適に暮らせる生活都市　豊かで創造的な生活都市」、
	第2期恵庭市総合計画では「活力とやすらぎのあるまち・恵庭」、
	第3期恵庭市総合計画では「（恵庭21世紀プラン）水と緑ゆたかな複合機能都市」、
	現在の第4期恵庭市総合計画では「水・緑・花　人がふれあう　生活都市　えにわ」となっております。
	説明は以上です。
	委員の皆様の活発なご意見をいただけますよう、よろしくお願いいたします。
部会長	ありがとうございます。それではこれから将来都市像案についてご意見をいただきたいと思います。
	今まで4期の総合計画があってそれぞれテーマを決めています。
	大事なのは恵庭らしさで、例えば最後に「えにわ」とありますが、この言葉を他のまちに入れ替えても
	通じるようでは、どこでも同じようなものになってしまいます。
	なので、恵庭らしい表現かどうかというのも総合計画将来都市像案を決めていくキーワードとして大事なテーマになります。
	そういう観点からも選んでいきたいと思います。
	まずは皆様方からご意見をいただきたいと思います。よろしいでしょうか。

作成日：　平成27年6月16日

議事録内容（4/12）	
A委員	先程も出ましたが第4期総合計画を発展させるという考え方、それが進歩なんですよね。
	新しいまちづくりにつながるということですから、そういうことを考えれば何かそこに工夫が必要なんだろうという風に思います。
	それは1番目の、ひとと自然の部分でもそうですし住み良いまちにもつながる、
	そしてそこには花と緑と水があり、これらが全部重なり合ってはじめて良いまちなのかなという風な思いをしています。
	それでどれが欠けたって良いまちになるわけではないですよね。
	どこか自分なりに満足している部分であっても、何か物足りない、欠けているなという部分があれば、
	それはまちづくりに欠けている部分であって、やはりもっとみんなの気持ちを充足したものにしていかなければいけないと思います。
	その時には恵庭の市民のニーズを捉えて、こういうものがあった方が良いだろうと色々な思いをもって組み立ては我々がしますが、
	そのような部分で非常に難しいと思いますが、他所にないものをやっていく。あるいは住民が満足することをやっていく。
	何が、と言われるとなかなか難しいところではありますが、
	肉付けの部分で無い部分を求める気持ちに応えられるようなものを描いていけたらいいかなという風に思っております。
部会長	ありがとうございます。今おっしゃっていただいた他所に無いもの、恵庭だけのものが大事で
	これから他のまちでも無いものというのは、やはり今までこだわってこられた水、緑、花とか
	これは恵庭でないとできないキーワードだと思いますし、第4期総合計画を大事にしてこられた、
	それから発展させるという意味でもこのキーワードは恵庭らしいなと思います。
B委員	私も転勤族で恵庭に来たんですけども、すごく人が温かいんですよね。
	転入してきた人に聞くと、人がすごく良いよねとよく聞きます。
	やはり1番のひとと自然の案は良いですよね。子育てするにはすごく良いまちだと思うんですよ。
	なので1番かなと思っています。
C委員	私は案3が良いと思っています。
	各案を見させていただいて、私の意見を言うと
	コミュニティ活動や市民活動で市民が中心となったまちづくりを一つのキーワードとしているのと、
	広報とか情報発信につきましても市民がキーワードになると思います。
	その他に地域の資源を生かした農林業とかの産物業の発展ということを考えると、
	それを盛り込んでいる、まあ夢という形になると思いますが、案3で
	それがつながり市民もつながるまちということで案3が今後の第5期の将来像に近いかなと思います。
D委員	私はこれを見た感じでは、案2が前回とあまり変わらないように感じますが、良いと思います。
	理由は花・水・緑は恵庭ならではのキーワードで、キーワードがあまりあり過ぎるとぼやけてしまうので、
	これが前面に出続けていくことが大切だと思います。
	やはり外から見る魅力と、中に入って見る魅力の共通のキーワードというのが一つです。
	もう一つはやはり、ふれあうから支え合うに変わっていて、これからまちづくりに大事なこと、特に恵庭の今の課題は
	所属する部会から見てしまうんですけど、支え合うというもっと人のつながりを強くしていくんだというのを見込んだ表現で
	変わっていないように見えて実は盛り込まれていて、
	しかも非常に短い表現で凝縮されている浸透しやすいものになっていて良いと思います。
E委員	どれも良いと思いますが、案3が恵庭らしさという点で良いと思っています。
	ただ、つながるまちと入っていますが、水・緑・花・人・夢、何と何がつながるのかなと
	人と人はわかりますが、花と何がつながるかと言われると、少しどうなのかな、わかりにくいのかなと思います。
	あと、案4の頭文字をとってえにわにするアイディアはおもしろいなと思います。

議事録内容(5/12)	
部会長	ありがとうございます。
	案4は語呂合わせで無理やりつくった感じもあるのかな。
	非常にそれぞれが魅力的な案で皆様の意見を色々伺いましたが、
	これから少し意見交換を進めて参りたいと思います。
	どう決めたかプロセスが非常に大事なので、そういう中身で話し合いを進めて参りたいと思いますが、
	私はどちらかというと花・水・緑、水･緑･花が入っているのが、非常に恵庭らしいなと思っていまして、
	案1の　ひとと自然に囲まれた住み良いまち　えにわ
	というえにわの部分を、「ちとせ」に変えても意味が同じく通じてしまいます。
	中身はよくわかりますが、総合計画のキャッチフレーズとして、
	恵庭らしいというのを前面に出すにはどうするかというような関係からも選んでいきたいと思います。
	それで案2か案3で話を進めていければなと思っていますが、いかがでしょうか。
B委員	やはり恵庭といえば花ですよね。
	良いと思いますよ。
部会長	花のまちとか緑のまちとか言ってますが、それを今まで積み重ねてきた恵庭の伝統にもなってきていると思います。
	それに関連して水も大事なテーマです。
	そういうことが恵庭の一番の特徴であると思います。
	これからはご自由に意見を発言していただければと思います。
C委員	案3の意見を先程、発表させていただきましたが
	つながるまちをキーワードとして考えた時に、花の話もあると思いますが今この瞬間でつながるというわけではなくて、
	将来に向けて子どもたちに伝えていくという意味でも、つながるというかつなげるという意味合いも含めて
	つながるというキーワードは良いと思います。
	それは水を将来に向けてつなげる、花や緑をつなげる、人や夢もつなげるという意味ではキーワードとして良いと思います。
部会長	将来につなげるって良いですね。
	恵庭って今まで新しいまちだと思っていましたが、今はもうこれだけ歴史ができて伝統もあり、
	我々が考えて今までやってきたことは、未来に向かっても継承するべき資産がたくさんあるんだというような
	これからの恵庭にとっても非常に大切な考え方だと思います。
	Aさんが活躍している柏地区や町内会でも、子どもたちに伝えたいという思いがあるんじゃないですか。
A委員	ありますね。町内会連合会の広報のタイトルが「つなぐ」ですよね。
	それは市民と、というのがベースでやはり色々なことが考えられると思うんですよね。
	花と水、緑はつながりがありますし、それぞれが独立して恵庭の特徴にもなっているんですけども
	自分たちが満足する魅力、あるいは外部に対して観光として恵庭に来てもらう魅力づくりということでは
	札幌圏の中で1時間足らずで来れる周流の中に恵庭は入っています。
	そしてまだ白扇の滝だとかしか見えてないところがありますが、奥の方は北海道を感じさせる大自然があります。すごい自然が。
	だから知床の方まで行かなくてもサラリーマンが札幌に仕事で来ても、
	帰りにちょっと1時間ぐらい大自然を満喫して帰れる良い場所なんです。
	だけど開発されてないから気づかないというだけの話で、そこに行く前の段階で花・水・緑が自然を感じさせて
	色々、皆様に見ていただくのもいいのかなと思うんですけど、そっちの開発をするにはお金がかかり過ぎるということがあるんでね。
	だからそういう形の中で、昔から恵庭の人も良いんですよね。自然のものを強調するのはイメージ的にすごく良いまちで
	そこに自然があり、笑顔がありということになれば、だけど何を訴えたいのかなと。
	第5期総合計画は我々が満足するための計画だとは思うんだけれども、人を呼び込むものもあっても良いのかなと思います。
	そうすると、何か別の項目も入れた方が良いのかなと、これだけに捉われないで、という風に思います。
	何か議論が必要なのかなと感じています。

議事録内容（6/12）	
部会長	何か一つ他のキーワードが入った方が良いという話ですね。
	さっきつながるということで、何がつながるんだっていうご意見をいただきましたけど、どうでしょうか。
	将来につながる、人がつながるとか、
	そこら辺ご意見あればお伺いします。
D委員	つながるということでいくと、今それぞれの地区ごとのまちづくりが進んでいて、札幌にいた身としては非常にうらやましいです。
	例えば後方から支援していこうとか、そういう雰囲気がだいぶ出てきていると思います。
	恵庭市全体としてですとか、あるいは今までなかなかこれはどこのまちでもそうなんですけど、
	手を差し伸べたりとか今まで注目することができなかった、例えば生活が苦しいあるいは急に苦しくなるケースが増えてきていて
	そういうところにも目を向けられるかどうか、これからのまちづくりの課題だと思っていて、
	私はつながるという中身を追及したいなということで案2を支持しています。
	ただ、案3にあって案2にないものは「夢」なんですよね。
	夢がやはり人が生きていく上での原動力になって、恵庭の今のまちで住んでいることで自分の希望やそういうものが
	ふくらむみたいな部分をこれから時代が厳しくなっていく中で、もう少し前面に出していっても良いのかなと思います。
	それから例えば案2の生活都市というのを例えば、夢のある都市とか、夢ふくらむ都市とかに変えるとふくらみが出るのかなと思います。
	ちょっと新しいキーワードはいまいち思い浮かばないんですけど、そういう風に幅を広げるのも大切かなと思います。
E委員	今、Dさんのお話を伺ってしっくりきた部分があります。
	案3に人、夢が入っていることに少し違和感を感じていました。
部会長	人と夢って今まで無かったものの典型ですよね。
	それで案2は水と緑と花で恵庭は美しいまちで生活都市とありますよね。
	生活都市というのは住宅地開発をするっていうような札幌からもたくさん来てくださいっていうような意味があったと思うんですけど、
	今の時点になってくると、もう札幌から人を呼び込むというよりは、
	中で集まった人がこれからどうやって充実していくかという時代になってきているような気がしています。
	そういう意味では夢が出てくるっていうのも大事だし、お互いに今いる人たちがどう関係するか、
	つながろうかというような局面になってきているような気がします。
	ちょっと今までの恵庭のまちのつくり方と少しステージが一歩上がったかなという風に感じています。
C委員	このキーワードで案1から案4で選ぶとするなら、案3かなという風に感じてはいますが、
	私も引っかかるところがありまして、5つのキーワードをつなげるているところが少し重いかなと思っています。
	確かにおっしゃるとおり、後ろにつながる生活都市なりをもう少し違う言い方で発展させるのもありなのかなと思います。
	ただ、今は思いついていないです。
部会長	これ人と夢がきているんだけれども、人と夢がつながるという風に後ろに持っていくのはどうだろうか。
	私はどちらかというと、支え合うことも大切だと思いますが、
	支え合う以上に今度はもっとつながることが、それを包括する大きな考え方になるんじゃないかと思っています。
	支え合うというと、Dさんはそういう関係でやられているからよくわかるんですけれど、
	人と人が助け合うということなんですよ。助け合うことよりももっと先に行って、対等な関係でつながっていく。
	そのような少し発展した形もあるのかなと思います。
	それから、夢って大事ですよね。将来が明るくなるようなイメージです。
A委員	支え合うために、何かをしなければいけないことは昔からの話なので
	それぞれの部門で出来上がったものがつながることに努力していかなければいけないよね。
	だから案3の方が案2よりも進行形かなと思います。

議事録内容（7/12）	
部会長	もちろん支え合うというのはその中に含まれていますよね。
	他はいかがでしょうか。
	事務局の方で何かあれば。
事務局	正直、案1は去年の市民の方々の意見を集約したものですが、さらっときれいにいき過ぎかなと思います。
	えにわをちとせに変えても、どこでも当てはまってしまい、きれい過ぎるのかなと感じています。
	案2の方は、まちづくり基本条例の前文にそのまま載っていて、
	それを持続させていく形でまちづくりを進めていくと謳っている部分がありまして、
	事務局としては、それを発展させた案3が流れ的にしっくりくるのかなとは感じていました。
	去年1年間、市民の広場とかでやっていましたが、つながりやコミュニティといった言葉が10年前と比べて非常に出てきました。
	やはり人口がもう下り坂で、これから高齢化になっていき核家族ではなくて違う意味での子守ではないですが、
	そうした危惧する意見が多く、そうした中で多世帯が顔を合わせてつながるということをつくろうとしていますが、
	去年の総合計画に関する市民意見集約の中でもコミュニティのつながりという言葉がたくさん出てきました。
	それから、まちづくり基本条例の話が出てきましたが、議会でも約3ヶ月くらい審議して制定しましたが、
	恵庭らしさ、いわゆるローカル制は何かというところをやはり議員は問います。議員もそれを思っていますね。
	同じような法律をつくっても恵庭らしさは何かというのがキーポイントかなと。
	そうすると恵庭は住みやすいという人が80何%もいて、生活利便性、自然環境、景観や食べ物だとか言っていますので、
	そういうところが恵庭らしさになるのかなという気はしています。
	あくまでデータから思った意見です。
部会長	私も思いますが、恵庭は自然があって住みやすいまちなので、札幌や他所からたくさん来ていただく、
	これからは集まった人たちが、どうやってお互いがつながるかという時代になってきている気はします。
	今までは戸建て住宅、マンションでもそこに引っ越してこられて家族で環境の良いところで住んでいたんですけど、
	今度は隣近所、町内会、市民がお互いにどうやってつながっていくか、というところが次の恵庭の大事な局面になると感じています。
	そういう意味では、案3をベースに考えればこれからの特徴的な恵庭のまちづくりにつながりやすいんじゃないかなと思います。
	水・緑・花・人・夢って全部言うと口がこんがらがってしまいますね。言いづらいです。
	5つ並べない方が良いのかもしれないです。
D委員	改良するとなれば案3が最適だと思います。
	人と夢ってところが新しい言葉なので、意味をきちんと込めて表記しないといけないかなという感じです。
事務局	では、案3をベースに考え直していただきましょう。
部会長	人と夢がつながるっていうのも一つの案かもしれないですよね。
	人がつながるってやはり大事ですね。
A委員	夢ってなんだろうな。
部会長	普段あまり考えませんからね。
	恵庭の夢って何だろう。恵庭に住む夢。
	恵庭に住んでいるから持つ夢。
E委員	ちょっと難しいですね。
	でも恵庭だからっていうのはどうなんですかね。地域によって違いますかね。
	その辺はあまり変わらないと思いますけどね。

作成日：　平成27年6月16日

議事録内容（8/12）	
D委員	福島県から恵庭市に避難されている家族の受け入れ状況について
	聞いた話なのですが、親子ともども近隣の住民や先生方の
	理解を得ながら新生活を充実させているということだそうです。
	恵庭には自衛隊から福島などの被災の厳しい地域に派遣されている方も
	いる関係もあるとは思いますが、様々な境遇にある人々への
	共感を広げやすいまちの特徴がよく出ている事例だと思うのです。
	今の話を聞いていてこういうことが色々できるというのが恵庭の良いところなんじゃないかなと。
	お互いの境遇を理解し合って、希望を持って新しくスタートできる。
	だから私が思う夢とは、一人ひとり持つものですがそういうのをふくらませてくれるというか、
	そういうような人とのつながりですとか、あるいは支え合いとかが恵庭の良いところかなと思います。
	前に私がいた札幌市ですとどうしても、そういうことは一人でがんばる、まずは自分でやるというところがあって、
	確かに自立は大事だけれども気持ちとして支えてくれるという面では、夢をふくらましてくれるようなつながりがあるのかなと思いました。
C委員	私、恵庭の農産物等を扱った商品開発、北海道全般の商品開発も行っているところなんですけども、
	それぞれ自分のお店を持ちたい、会社を持ちたいという人がいると思いますが
	最初の第一歩が恵庭であること、恵庭からスタートできることをサポートできるような将来像を描いていくのに、
	夢というキーワードを入れていただくと、合うのかなと思います。
B委員	水・緑・花ってあるんですけど、やはり恵庭のまちは花ですよね。
	だから花を一番最初に持ってきたらどうなのでしょうか。
	そっちの方がインパクトがあるような気がします。
部会長	私も気になっていましたが水・緑・花って言いづらいんですよ。
	花・水・緑の方が口が回りやすい。
	単語の文字数が多いのを後に持ってきた方がしゃべりやすいです。
	花は最初にある方が良いでしょうし。
A委員	先程から言っているように、つながりがあって夢が広がるんですよね。
	だからそう考えると夢というのは、水・緑・花・人が相まってさらに深みが出た集大成かなと。
	そこには個人差があって、花だけで満足する人あるいは、水だけで満足する人などいろいろなケースがあると思いますが、
	さらにこんな風になればいいな、それが夢なのかなと思ったりしています。
	だから夢って恵庭らしさを結びつけた時に、どういう夢が恵庭にあるだろうと考えた時、
	本当はさっき言ったようなみんな知らない大自然だってあるんだよな。
	そしてそれが札幌の近くにある。これを黙っていればもったいないな。
	そうすれば、もっともっと広がると思うんだけれども。
	夢の中で第5期総合計画の向こう10年の体系の中での予算を考えたら
	あまりとてつもないことはできない、他所が過疎になってきているのに恵庭にだけ予算を貰うわけにはいかないから
	道の予算もそう多くは使えないだろうから、何が一番いいのかなって思いますね。
	今あるようなものをそれぞれちょっと肉付けしたようなもので終わるのも寂しいような気もしますしね。
	だから夢もどこまで持てばいいのかとかいう範囲。
	ただみんなが手の届くような夢では駄目だよね。
	もう一歩手を伸ばしてここまで目標にできたら素晴らしいな、ということを目標に掲げないとちょっと寂しいかなと思います。

議事録内容（9/12）	
部会長	色んな夢があって実現できるのが恵庭の良いところだと思いますけど、
	人がつながるって市民同士がつながるっていうのもあるけれども、
	市民だけじゃなくて観光客とかいろいろな人たちがつながるということもあると思うんですよね。
	前から言っているんですけど、恵庭って恵庭の駅を年間1000万人素通りしているんです。みんな素通りしているんです。
	経済的なことをいってもその一部だし、人のつながりといっても、その人たちが1％でも恵庭に立ち寄ってくれれば、
	魅力があるのでね、そうすればそれだけで10万人ですよ。
	数やお金の話ではないんですけど、まだまだ恵庭ってチャンスや機会があるんですから、
	それをもっともっと人がつながるというキーワードの中で伸ばせる措置っていうのはまだまだあるんじゃないかと感じています。
	そういう意味では人がつながるって大事なことだと思います。
	あとは他に必要なキーワードはありますか。これで組み立ててもいいですかね。
	文章の組み立て方として少し工夫がいるので、例えば花・水・緑にするとか、花・水・緑・夢・人ってつなげた方がいいのか
	それとも一回切って、人がつながるとした方が良いのか、人と夢をつなげるのか
	本当は人がつながって夢が実現するってことですよね。
	というような文章の作り方をするのか。けどそうすると文が長くなってしまいますね。
	キャッチフレーズは息継ぎしないで一言で言えるものがいいよね。
D委員	私も花は頭にきた方が良いと思っているので、
	「花・水・緑　人がつながり　夢ふくらむまち　えにわ」
	というのはいかがでしょうか。
	どうしてこう考えたかというと、今新しく始まっている目玉事業で恵庭まちじゅう図書館という取り組みがあります。
	あれはまさしく人がつながって読書の感想ですとか、人が集まるってことを要は市民がそれだけの取り組みでやっているわけです。
	これにすごいお金をかけているとかそういうことではないんですよね。
	応募した事業者に援助はあると聞いたんですけど、ボランティアなんです。
	そういう風にしてまちの中の魅力をすでに人がつながってまちができることを増やしていくということもあるので、
	この表現だけでも十分、等身大の部分から一歩踏み出るメッセージが伝わるかなと思いました。
部会長	良いですね。人がつながり　夢ふくらむまち　まさにこの通りですね。
E委員	すごく良いですね。
	完成に近づいている中で申し訳ないんですが、
	花・水・緑と何回も聞いている中で、すごく下らないのですが、鼻水・緑と聞こえて
	子どもたちに聞かせたらすごい喜ぶかもしれませんが
	良いなって思うところと、ちょっとどうなのかなと思うところがあります。
部会長	前の総合計画はどうだったの。
	花・水・緑だったの？
事務局	前回の総合計画は水・緑・花です。
	まちづくり基本条例の前文は花・水・緑です。
	あえて総合計画のキャッチフレーズを使わないでっていうことになっていたみたいですが、
	変わるたびにまちづくりの方向性も変わったらまずいということだったようですが、
	並びはなぜかということはわかりません。

議事録内容（10/12）	
A委員	花にも緑にも水は必要なのさ。
	だけど水というものは、水を治めるものは国を治めるというくらい大事な部分でしょう。
	企業誘致するにも水が無ければだめでしょう。それから人口が伸びていくにしても使わない水まで確保していなかったら
	まちは残れないわけだから、そうした時に水がどうしても必要なので、花と緑を切り離して水は独立して必要なのかな。
	だからそういくと、人のつながり、人の優しさも大事ですし、
	夢というのはそういうものを一貫して通してどれだけのイメージを持つか夢と捉えてどれだけの夢を持つのか考えたいよね。
	だけどこれからは過疎につながっていくから人口の増長はあまり見込まれないことを考えれば、
	水というのがある程度良いのかなと。
	そうすると花と緑でつなげていけば、もっとスマートになるのかなと思います。
	水･花・緑とか他所のまちはともかく、恵庭のまちの実態はこれですね。
部会長	花･水・緑の順番について話し合ったことは今までないの。
事務局	元々が水と緑のまちということで、条例をつくっていましたので
	その後、水と緑のまちづくり推進プランということで水と緑で進めていたと聞いています。
	最初は花はありませんでした。
	ただ、今経済部に花と緑・観光課というのがありまして、それで花が出たのかなと。
	花はどちらかというと後から出てきました。
部会長	水と緑は他の町にどこにでもあるんですよ。
	花があるということが恵庭の一番素晴らしいことなのかなと私は思います。
	鼻水がひっかかりますが。
	でも花・水・緑は新しくて一番良いかなと思いますね。
	2つちょっと意見をいただきたいのですが、
	まず最初の文言の順番、それと後ろの方の　人がつながり　夢ふくらむまち　ということですけども
	ここをできればもう少し簡潔にしていただければと思います。
	夢あるまち、夢のまち、とか色々ありますが、夢ふくらむまちってやはり魅力的ですよね。
E委員	短くなったりはしませんが、夢咲き誇るまち　というのはどうでしょうか。
	花のまちということで前の花と、後ろの咲き誇るでかかっていて、すごく良いと思うので候補としてどうかなと思いました。
部会長	他はどうでしょうか。
	今までの話の経緯や並びについて検討している中で、事務局の方で何かございますか。
事務局	この資料の通り、総合計画の3期と4期は、水・緑の順番になっているんですよね。
	水・緑ってくると自然がすぐ思い浮かびやすいですよね。
	それで恵庭は花だよね、人も良いよね、夢もあれば良いねという風になりやすいですよね。
	やはり水・緑で一つというのも良いかなとは思います。
	小学生目線というのも10年先までの話なのであっても良いのかなと。
A委員	まちづくりに係わってきた人としては、やはり水は大切なのさ。
	それで緑と花はやすらぎの部分なんだよね。
	まちの発展以外、市民にはやすらぎを与えるという部分でしょう。
	だからそれと相まって、人と夢が絡んでくるからすごく和やかなまちになりそうですね。
	ただ、水の意味合いだよね。大事なんだけどな。
	文の最初に何を持ってくるのか。主題だからね。
	それは大事にしたいなと思います。

議事録内容（11/12）	
C委員	最初の並びでいうと、やはり恵庭は花なので、ガーデニングなどイメージできる花が良いと思います。
	次にくる言葉としては、やはり水かなと思います。
	先程も皆さんがおっしゃっていたように、恵庭のおいしい水が商品にもなっていて、
	水といえば恵庭だよねとすぐに思い浮かぶこともあって、そういう意味では花と水は最初にくるのかなと思います。
	あと、後ろの方の先程の案で咲き誇るというのが
	最初に花で始めると最後に咲き誇るなり、咲くで終わると語呂というかイメージになってしまいますが、
	咲くという言葉が、ふくらむというより良いのかもしれません。
部会長	私も花･水･緑が一番しっくりくると思いますが、
	子どもたちには鼻水と言わせておけば、それで覚えられるかもしれない。
E委員	私もそれで良いのかなと思っていますが、恵庭市さん的にどうなのかなと思うところもありまして。
事務局	まちづくり基本条例をつくった時の話を聞いてみましたら、あまり順番ってそこまで話していなかったようです。
	たぶん総合計画関係の将来都市像だと水・緑の並びできていましたが、
	基本条例をつくる時にやはり恵庭の売りって何だとなった時に、花が最初にきたのかなと思います。
	水・緑・花とか花･水･緑とかあまり順番を変えるのもよくないのかなと、
	前の審議会の時にF委員が順番を変えるとわかりにくいとも言っていましたので、その辺りもあるのかなと感じています。
	花･水･緑で、人・夢となると基本条例の前文を発展させたものとわかりやすいかもしれません。
A委員	花って恵庭にしか使えないですもんね。他のまちは使えないんですよ。
	これはやはり恵庭の１番良いところだよね。
部会長	では、花･水･緑で最初の部分は決定してよろしいでしょうか。
	（賛成の声）
	ありがとうございます。次に後ろの方の人と夢ですけど、
	人がつながり　夢ふくらむまち
	人がつながり　夢咲き誇るまち
	で、どうでしょうか。
	咲き誇るも良いかもしれないですね。
D委員	あえて、ふくらむにこだわらせていただいて、今後の総合計画のイメージをどう示していくかというのもあると思うんですけど、
	私自身も心がけていきたいことなんですけども、そんなに派手な、大きなことはできないと思うんですよ。
	その代わり、一人ひとりが余すことなく余されることなく希望を持てることの方が大切だと思っていて、
	ある種のささやか感みたいなものは大事かなと思っています。それで夢というとどうしても大きくなってしまいがちな言葉なので、
	それはイメージとしてある程度抑えつつも希望を出すと、そういうのが良いなと思います。
	咲くっていう言葉のイメージも好きなんですけどね。
部会長	ふくらむって誰もが共有できるようなフレーズですよね。
A委員	現状では人口減少下にある中にあって、そうなればなるほど夢って良いなと思います。
	反比例するかもしれないですが、そういうのを持ってきても良いなと思いますけどね。
部会長	これをきっかけに恵庭の夢って何だっていう話題ができると良いです。
	花･水･緑の最初の方と、後ろの関係はどうなんだろうね。

議事録内容（12/12）	
D委員	咲くという表現を使おうとすると、例えば夢の花ですとか、
	花を後ろに持ってくると良い形になるのかなと思います。
	そうなると意味が通りますし、夢の花咲き誇るという表現が強く出て主題として提示はしやすいと思います。
	そうすると今度は、二つに分ける必要はないのかなと思います。
	水・緑・人がつながり　夢の花咲き誇るまち　えにわ
部会長	でも花を先に持ってきたいというのがありますよね。
C委員	無理やりつなげなくて良いのかなと思いまして、私の個人的なイメージだと恵庭に環境を示すものがベースになっていて、
	その環境に魅了された人たちが移り住んできて、その人たちがつながって、夢をふくらましていく恵庭という
	だんだんベースから発展していくようなイメージでこの言葉を捉えていました。
部会長	そしたら、今だいたいご意見が出てきましたけど、
	「花・水・緑　人がつながり　夢ふくらむまち　えにわ」
	で、どうでしょうか。
	第4期の生活都市から発展して、夢ふくらむまちという意味では、前の将来都市像とつながりがあって良いと思います。
	（賛成の声）
	それでは、「花・水・緑　人がつながり　夢ふくらむまち　えにわ」
	を将来都市像の案として選出いたします。
	この過程を説明していただいて、審議会で議論していただきたいと思います。
	ありがとうございました。皆さんからの活発なご意見により非常に発展的なものになりました。
	特に人がつながるのと夢がでてくるのが、恵庭の素晴らしいキャッチフレーズになったと思います。
	その他、何か事務局からございますでしょうか。
事務局	ありがとうございました。素晴らしいキャッチフレーズになったのかなと思います。
	やはりまちの人々が一生懸命、生き生きしていかなければならない。
	人がつながって夢がふくらむというのは素晴らしい内容になったかと思います。
	最後にその他としまして、今後の予定についてご説明させていただきます。
	次の審議会の日程ですが、5月26日（火）地域資源部会、28日（木）教育福祉部会、29日（金）生活環境部会をそれぞれ開催いたします。
	時間・会場はいずれも14：00から市役所4階402会議室となっております。
	今後専門部会は、7月にかけまして部会ごとに3回程度の開催を予定しており、
	審議内容につきましては総合計画基本計画の24本の基本目標について審議いただき、
	決定していただく予定としています。
	ですから単純計算では1回の部会ごとで3本程度基本目標を決定していくこととなります。
	委員の皆様におかれましてはご多用の中、申し訳ございませんが、資料の事前確認や審議会への出席等ご協力お願いします。
	以上です。
部会長	ありがとうございます。
	それではこの調整部会は7月の審議会の前にあるかもしれないということで、
	その時には、お集まりいただけたらと思います。
	今日は長い間、積極的な議論をしていただいてありがとうございます。
	非常に発展的でこれからの恵庭を考える良い議論ができたと考えております。
	また今後ともよろしくお願いいたします。
	今日はどうもありがとうございました。
	以上です。